

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

① 地域振興とデータサイエンス

- ・道の駅に来たことはあったが、客層や売れ行きの良い商品を見たり、考えたりしたことはなかったの
で、見聞を広げる機会になった。
- ・インタビューがとても緊張して難しかった。(4) 最初の頃思っていたよりも、ずっと人が多くて驚
いた。売り場を見ても、結構売り切れていたり、減っているものが多く、売り上げも多くてびっくり
した。車を見てもいろいろな所から来ていて、見ていておもしろかった。
- ・インタビューを通して、様々な年齢層の方々から道の駅の魅力を知ることができた。(2) 店内の観
察をすることで、売り上げを伸ばすための看板などの工夫にも気付いて、面白い体験ができたと思う。
- ・自分たちでインタビューしたり、工夫点をみつけるフィールドワークを通し、地域振興の難しさを知
ることができました。良い経験ができて良かったです。(4)
- ・客層は見た感じ年配の人が多く、その方々は、昔住んでいたなど、けっこう米沢に詳しくあった。また、
思ったよりも駐車場が多かったです。おいしそうなものもたくさんあった。
- ・積極的に話しかける力がついた。米沢の現状を深く知れた。(2)
- ・様々な年代の人にアンケートできたのは良い経験になった。
- ・色々な人にアンケートしていて思ったのは、米沢牛目当てで道の駅に来た人が多かった事です。
- ・東京など遠方から来る人が多く、多様な話を聞いて楽しかった。(5)
- ・地域の人に話を聞くのが楽しかった。その人の人生の話などの聞けるので、とてもタメになった。
- ・道の駅のできた経緯やしていること、あるもの、目玉などを知ることができてよかったです。
- ・今回はフィールドワークということで、自分の苦手なコミュニケーションを必要とする回で、はじめ
モジモジしてなかなか行動に移すことができなかつたのですが、最終的にはアンケートを自らとり、
商品などについて調査を行うことができました。
- ・フィールドワークを行って、自分が考えていなかった観点からも情報を手に入れることができ、視野
が広がったと感ずることができた。
- ・実際に店員さんやお客さんの声を聞いてみたり、「調査」という目線で見ると、たくさんの
「お客様に喜んでもらえるような工夫」がされているんだなと思いました。

② 人文学とサイエンス

- ・私は、「女だから～」という言葉にすごく反感をもっていて、この講義の内容にとっても興味を持って
参加できました。今の日本は、「誰に対しても優しい」環境ではないし、「多様な生」という言葉がい
ろいろな所で忙しく働いている状況で、苦しく、狭いと思います。時間はかかると思うけれど、相互
理解は本当に大切なことだと思います。(4)
- ・多様性の中でも、性別に焦点を当てた話を聞き、「多様性を認めよう」という考えを国として推奨し
ているが、それは、性別に対する知識がないとできないことだと思った。また、そのような考え方を
すすめている一方、性に関する知識を広げようとしている人のほうが少ないのではないかと考えた。
実際、今日の講話を聞き、もちろん知っていることもあったが、知らなかったことの方が多かった。
このように、自分でも性に対してこれから知識を増やし、理解に少しでも近づくことができるよう
になりたい。
- ・性の問題は最近よくニュースなどで見るようになったけど、実際、身近に感じられていなかったから、
今回の講義で個人の多様性であるものだと意識が変わった。これからの生活に活かしていきたい。
(3)

- ・言葉は人々を切り分けて、区別するものではなく自他の理解のために必要なものということにとっても感心をもちました。あくまで個人は個人として存在し、言葉によって区別することはできないと、今回の講話を聞いて思うことができ、性に関する新たな視点を見つけられたと思いました。
- ・身近な事例でしたが、それゆえに深く考えさせられる講座だったと感じました。(2) このような機会をいただきありがとうございました。
- ・池田先生のお話を聞いて、ありふれた言葉の中で自分がどの言葉を選択し、責任をもつかを生活の中で考えるべきだと分かり、これからの生活で意識しようと思いました。また、少数だからなどという理由で違った目で見るとはではなく、こういう考えの人もいれば、こういう考えの人もいるなど、1人1人考えていることは、当たり前が違うことを心にとめて行動したいと思いました。
- ・少数者の名前は聞いたことがあったけれど、多数者にも名前があると知り、多いから普通、少ないから変わっているというわけではないのだなと実感しました。(3)
- ・LGBTQに当てはまる人たちに対して、自分も偏見を持っていたが、講義に参加したことで、考えが改まりました。また、トランスジェンダーの人たちが困っていることについて知らなかったこともあり、驚きました。
- ・多様な性があり、個人を尊重するためにとっても必要だと改めて感じた。(4)
- ・多様性であることに意味がないということに気付かされた。多様性という言葉だけを大事に守ろうとしていたが、その裏にある本当の目的について知ることができて、良い経験だった。
- ・多様性自体が大切なのではなく、個人を尊重することが最も大切であると分かりました。(5)
- ・今まで、ジェンダーに関する話を聞くときに感じていたもやもやが、「少数派について、他人事で考えている」という話で、とても納得できた。
- ・池田先生のお話が、スッと自分の中に入ってきて、自分もシスジェンダーをして、もっともっと性のことを知りたい、知ってもらいたいと思えました。おおげさに思われるかもしれませんが、2時間で、私の知見がひっくり返りました。ありがとうございました。

③ 教育と科学

- ・班の人と協力して授業計画をスムーズに立てることができた。(4) ゲームを中心に楽しい授業を目標として計画した結果、実践が増え、知識が身につく授業がくれそうなので良かった。全員で意見を出し合い、授業を作る私たちも楽しい授業ができたと思う。次回のFSでは、スムーズに授業を進行できるように、協力して頑張りたい。
- ・生徒へ教えることの楽しさや難しさを感じる事ができた。(3) 次の模擬授業では、全員に理解してもらえるように頑張りたい。(2)
- ・模擬授業の準備、とても楽しく真剣にできました。(2)
- ・問題を考えるのは授業でやっているけど、教え方を考えるの初めてで面白かった。
- ・どこでどのようにつまづきそうかを自分の経験に基づいて考えることができました。分かりやすい教え方がまだいまいち分からないので、普段の授業で分かるようにしたいと思いました。
- ・生徒の気持ちになって授業を考えることができた。先生がたくさんの準備をしていると思うと、もっと授業に意欲的に取り組みたいと思った。
- ・指導案を考え、自分の言葉で説明するのが大変でした。
- ・工夫に工夫を重ねたが、いかに相手に伝わるか不安である。

④ ライフサイエンス

- ・班で協力できて楽しかったです。(2)
- ・ごみの減量化の必要性を改めて知ることができた。(3)

- ・後半にグループワークで課題解決のために話し合ったことで、食品ロスやプラスチックのゴミの問題を自分事としてとらえることができてよかった。
- ・身近な社会問題に対する興味関心が深まった。自分にもできることがあると思うので、見つけていきたい。
- ・ゴミが環境に与える影響について知ることができた。グループ活動を通して自分たちにできることを見つけることができた。
- ・今回の講義では、食品ロスをなくすために「もったいない山形」「フードバンク」など、色々な取り組みが行われていることを学ぶことができました。どのように改善すればいいかを自分で考えてみて、自分が普段当たり前のように行っていることが食品ロスなどにつながっていることに気付くことができ、少しいい気分になった。
- ・今まで浅くしか考えていなかった食品ロス、ごみ問題を、今回の FS で深く考えることができよかった。

⑤ 機械・エネルギー工学と社会

- ・アニメやマンガなどファンタジーのような社会への足掛かりのような技術を感じる事ができて面白かった。
- ・研究テーマを考える時、0から自分で考えるのもいいけど、身の周りの生物や現象、他の人がしていたことを参考にするのも大事だと実感しました。
- ・ロボットの技術は発想によって様々な分野に応用することができることを知れたり、そういった研究の状況を知れたりとてもよい経験になったと思う。今回知ったこと以外にどんな分野に応用されているのか知りたいと思った。
- ・サクランボ収穫ロボと手足の動きのものが面白そうだった。
- ・現在の社会で、ロボットが必要とされているということを実感した。
- ・機械と生物は関係ないと思っていたけれど、意外と結びつきが強いということに驚いた。
- ・ミニチュアヒューマノイドロボットがとてもかわいかった。
- ・ロボットを実際に見てみて、ロボットにも様々な分野があるんだなあと思いました。
- ・機械系のロボットについて色々なことを学ぶことができたのでよかったです。人体に関わるロボットを知る良い機会になりました。(2)
- ・バイオ系の職業に興味があるので、今回の研修はいつも以上に楽しかったです。宇宙や地域社会に影響を与えられる研究をされていてすごいなと思いました。
- ・講義だけでなく、実際に見たり体験することができ、とても楽しかったです。(2)
- ・筋肉の動きにとっても興味を持ち、僕も、筋肉と他のことを合わせたことを自分なりに考えたいと思いました。
- ・人工的な機械が人や生物の行動を楽にできるように促すことで、社会に貢献できる研究などに生かされていて、その過程を知ることができたのでよかったです。
- ・地道な研究だが、それが熟した時に社会に大きく貢献できると感じた。
- ・1, 2 回目と大学の先進的な研究を生で見ることができ、大学に行くために、今から勉強を頑張りたいと思った。
- ・様々な研究に触れることができたため、大学というものの形が何となくわかった。
- ・興味が深まった。
- ・一人一人が、社会に役立つ物をつくろうと、楽しみながら試行錯誤をされていてとても良かった。自分も課題解決に尽力を注いでみたいと思った。

- ・社会と科学の関係の深さを知れた。
- ・6本足のロボットについて、垂直状態で使うときに、胴体を伸ばせるようにしたら、更に多様な使い方ができるのではと思った。
- ・新しい技術には多くの問題も存在するが、それ以上に新たな可能性があると思った。新しい技術をどう改善して、どのように人の役に立てるようにするか考えることがとても楽しいことだとより実感することができた。

⑥ デザインと工学

- ・目隠しをして、主に情報を得られるものが聴覚になった時、全然情報が得られず、難しかった。ジュースの味をあてるのもとてもむずかしかった。楽しかった！！
- ・視覚がさえぎられると必然的に他の感覚に頼ることになるから、視覚がもたらす影響は結構大きいのだと思った。五覚すべてを使って生活できるのは幸せだと思う。面白かった。
- ・視覚がないだけで、他の感覚をすごく働かせているのを実感した。すごく面白いなと思いました。
- ・人間が外界情報をどれだけ視覚に頼っているか分かった。生まれつき障がいがある人と途中で障がいが発生した人によって困ることに変化はあるのか疑問に思った。
- ・目をふさがれた状態だとすごく怖かったです。自分の知っている場所だったからまだよかったけれど、道でだったり、知らない場所で同じことをされたらもっと怖いだろうなと思ったし、「音」の重要さがわかりました。(2)
- ・思っていたより、音から得られる情報が少なく、慣れている場所でも恐怖感がありました。音の定義や身体が不自由な方々へのサポート方法を知っておくことで、様々な場所で役立つなと感じました。(2)
- ・目が見えない人の体験をすることで、やっていいことと、やってダメなことがはっきり分かりました。
- ・普段は何気なく聞いていた「音」について、様々な観点から学習して、「音」の深さを知ることができました。
- ・FSの講義を受ければ受けるほど、デザインに関して新たな発見があって、本当に楽しいし面白いので、興味がどんどん湧いてくる良いコースだなと思いました。(2)
- ・科学的に考えるだけでなく、文化的にも考える必要があるので、社会には文系も必要だと思いました。
- ・とても勉強になりました。
- ・音はとても身近にあるので、当たり前だと感じていたが、改めて学んでみると様々な歴史や人との関りがあることを知って面白かった。様々な音を注意して聞いてみたい。

⑦ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・サイエンスが暮らしをよくする新たな兆しを感じることができた。
- ・バイオマス発電をより身近に感じることができた。地域の人と連携して糞や残渣をもらっているのも良かったし、発電方法も知らなかったことばかりだったので、とても興味深かった。(2) 生物分野に興味があるので、もっと詳しく知ってみたいと思いました。(2)
- ・思っていたよりもおもしろかった。(4)
- ・所長、社長の方が良い人たちで、話もおもしろかった。
- ・バイオマス発電について理解が深まった。(3)
- ・エネルギー生産と農作物のサイクルができるのは、より再生可能な社会に近い完成形だと感じた。
- ・前から再生可能エネルギーには興味があったので、講義を聞いて、今の日本の実態を知れて良かったです。また、肥料の糞で野菜を育てると栄養価が高くなるということで、どのくらい栄養価が含まれるのが気になりました。

- ・今回の研修で、バイオ燃料と米沢市の密接な関わりについて理解できた。(2) また、装置のしくみなど、詳しい内容が聞けて、とても楽しかった。

⑧ バイオ産業科学と社会課題

- ・遺伝子組み換えが、植物ではなく、魚に使われている例を初めて見る事ができた。染色体操作技術によって、ニジサクラが使われていることや、生産性を上げるために、偽雄を使っていることなど、ニジサクラについての情報をたくさん知ることができた。
- ・漁業のことを知る機会はなかったので、科学という観点から自分の知らない分野を学ぶことができ、面白かった。
- ・3倍体の魚という存在を、今まで知らなかったので、3倍体の魚にする方法や、それが私たちの生活に役立つと知れて良かったと思います。遺伝子を操作することで、魚を大型化させたりすることは聞いたことがあったけど、雌だけ成熟しないということは聞いたことがないし、どうしてそうなるのか調べてみたいと思いました。
- ・2倍体を3倍体にして、食べられる部分を増やす技術は画期的で、とても面白いなと思いました。
- ・特別な施設を見学できて、とても楽しかったです。
- ・遺伝子組み換えで、特徴を持った魚をつくれることがわかった。
- ・生産の効率を上げることができる技術と掛け合わせで作る県独自となる産業の両方に触れられておもしろかったです。
- ・通常交配しない種同士を掛け合わせる技術を知ることができて、よかったです。
- ・おいしい魚を作るためにサイエンスが使われていることを初めて知った。本物のニジサクラやいろいろな魚を見て面白かった。
- ・魚の養殖場を間近に見ることができておもしろかった。思っていたよりも大変な仕事量だと感じた。
- ・米沢で養殖がおこなわれているなんて知らなかったので、今回知れてとても良かったと思った。私たちが何気なく食べている魚が、遺伝子操作されていることに驚いた。生活の中で、魚を食べるときに、そのことについて家族にも教えてあげたい。

⑨ 医療の最先端

- ・今回の講義を通して、地元の医療について知ることができて楽しかった。かなり地域差が大きく、課題解決は難しそうだと感じた。
 - ・今回は、山形や置賜の医療についても触れたので、将来地元のために働きたい私には、とても貴重な機会になった。
 - ・興味深い話をたくさん聞くことができてよかった。(3) もっと体験の学習がしたいと思った。
 - ・医療の政策という新たな視点を持ち、学んで、内容は少し難しく感じましたが、興味深い講座でした。
- (6)
- ・自分の知らないことがたくさんあった。
 - ・医療全体に対する政策や他国との違いを学べた。(4) 山形県の現状も知れた。(2)
 - ・地域の今後についてよく考える良い機会でした。(4)
 - ・日本の医療制度について、以前から関心があり、今回の講義で詳しく知ることができて良かった。物事に対する表面的なイメージではなく、データを見ることで事実が見えてくるのだと感じた。(3) データを読み取る力をつけていきたい。講義資料を活用して、日本の医療の現状について、自分なりに理解していこうと思う。
 - ・悪性新生物は、「新 生物」なのか「新生 物」なのかが気になった。
 - ・“医療”や“看護”にとどまらずに、社会全体を視野に入れて物事を捉えることも大切だと思った。

自分の将来の助けになるきっかけになったらいいなと思います。

・将来の職を考える良い機会になったと思いました。地域医療の大切さや、高齢者を支える医療の発展について知ることができました。